

京都御池地下街(株)		平成30年度経営計画 兼 経営努力結果	
基本事項			
所管局課	都市計画局都市企画部都市総務課	本市出資金	2,040,000 千円
基本財産/資本金	3,495,000 千円	本市出資率	58.4 %
「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」			
方向性	存続	目標年度	-
「今後の方向性」に向けた基本的方針			
業務面	ゼスト御池地下街の更なる活性化を図る。		
財務面	収益力の向上を図り、経営の自律性と安定性を高める。		
組織面	業務量の変化に応じた体制の適正化を図りつつ、より一層組織・業務が機能するよう体制の整備も図る。		
その他			
当年度の取組目標に対する意見			
所管局	更なる賑わいの創出を目指し、積極的な目標を掲げていることを評価している。中期経営計画に掲げた方針に基づき、更なる地下街の活性化と会社の収益力向上に期待する。		
当年度の「今後の方向性」の進捗状況及び各取組に対する総括(※)			
団体	来街者数、テナント総売上、イベント件数とも、過去最高数値となった前年度を上回り、さらなる活性化が図れた。また、財務面では減価償却費の負担が大きいため、当期も赤字となったが、収益の指標である償却前営業損益が引き続き改善し、安定的な現預金残高を確保するなど資金面は安定している。また、新統括管理会社を選定し、さらなる収益力の向上と安定した地下街運営が期待できる。		
所管局	来街者数やテナント売上など過去最高数値となり、イベント実施の拡充などリニューアル効果が継続されるよう、情報発信や集客イベントの工夫など、多様な世代に向けた魅力向上策を検討いただき、今後も地下街の活性化と収益力の向上に期待する。		

京都御池地下街(株)	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
------------	------------------------

(1)業務に関する取組

目標「ゼスト御池地下街の魅力の向上による賑わいの創出」	
中期経営計画 における取組	地下街の環境整備（未整備部分のリニューアル等：令和元年度実施予定），魅力のある店舗展開による顧客サービスの一層の強化により，地下街の魅力向上を図るとともに，広場を活用したイベント等の更なる充実により，地下街の一層の賑わいづくりに取り組む。
当年度目標	中期経営計画に掲げた目標を推進するため，平成30年度は，環境整備の実施に向けた調査・計画を実施し，目標に掲げた期限までに実施できるよう取組を推進する。また，広場のさらなる活用については，京都市の関係部署等とも協議を実施し，一層充実したイベントが実施できるよう取組を推進する。
当年度結果 (※)	環境整備では，防風扉2箇所の整備を新年度早々に実施する計画を策定した。また，広場の活用については，京都市の関係部署等との協議が整い，利用方法・スペース等について，従前以上に活用することが可能となった。今年度は，河原町広場，市役所前広場において，オープンカフェを開業した。また，イベントについても，394件と大きく開催件数を伸ばし，イベント開催者と来街されるお客様に喜んでいただくとともに，街の一層の賑わいづくりに貢献した。なお，未整備部分のリニューアルについては，市庁舎整備の進捗を見ながら，令和元年度に，計画策定，準備を進めることとしている。

指標1	来街者数の増加 (単位：千人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	11,000		11,000		11,000		11,200	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	10,900	10,948	11,000	11,225	11,300		-	

指標2	テナントの年度総売上高 (単位：百万円)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	2,970		3,100		3,000		3,200	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	3,000	3,005	3,100	3,075	3,150		-	

(平成30年度単年度経営計画)

京都御池地下街(株)	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
------------	------------------------

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考欄
	予算	実績(※)	予算	実績	予算	実績	
売上高	1,081,317	1,089,509					
売上原価	0	0					
販売一般管理費	1,232,103	1,203,819					
営業利益	△ 150,786	△ 114,310					
経常利益	△ 155,602	△ 117,981					
当期純利益	△ 156,552	△ 118,933					
資産合計	-	11,631,483					
純資産合計	-	2,328,094					

目標「収益力の向上」

中期経営計画 における取組	環境整備や魅力的なテナントの誘致、イベントの充実等により、来街者・実際に購入されるお客様の増加に取り組み、テナント賃料の増収、駐車場の利用促進に努め、収益力の向上を図る。環境整備等については、市役所との連絡通路の完成に向けて実施できるよう取り組む。環境整備を予定している令和元年度には一時的に経費の発生や収入の減少が発生するが、減価償却前営業利益の拡大を目指す。
当年度目標	平成28年度に実施した北側通路区画のリニューアルに伴い、ゼスト御池地下街は、日常的な利便性の増加によりお客様ニーズにお応えするというコンセプトを一層向上させることができた。これにより、平成29年度は来街者、テナント総売上とも過去最高を更新する見込みである。平成30年度は、ゼスト御池地下街の取組をより多くのお客様に周知し、来街を一層促進するため、広告宣伝や販売促進に取り組むとともに、イベント内容の充実や工夫、お客様サービスの向上を図る。これらにより、減価償却前営業利益の一層の向上を図る。
当年度結果 (※)	当年度は、リニューアル効果が継続するとともに、広場の積極的な活用によるイベントの大幅な増加等の効果もあり、来街者数、テナント総売上とも、過去最高となった前年度の数値を更新した。これに伴い、経営の指標としている減価償却前営業利益も一層向上し、経営の改善が図れた。

指標	減価償却前営業損益							
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	428,000		451,000		402,000		481,000	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	460,959	465,743	451,000	508,192	509,000		-	

京都御池地下街(株)	平成30年度経営計画 兼 経営努力結果
------------	------------------------

(3)組織に関する取組

目標「業務量の変化に対応した体制の適正化」	
中期経営計画 における取組	ゼスト御池地下街は、環境整備の実施や、開業後20年を経過した施設設備等の更新、保守管理等への対応が必要であるため、平成30年度以降、業務量の増加が見込まれるが、迅速かつ効率的な対応を実施するために施設部門の体制を適正化し、修繕費や人件費等の経費増加を極力抑制する。
当年度目標	平成30年度は、施設設備等の更新・保守管理への迅速な対応、強化を図るとともに、地下街環境の向上に向けた施設整備計画を策定するため、施設部門を充実することとしており、外部に出向させていた施設担当を当社に復帰させ体制の強化を図る。なお、業務量の増加が見込まれるが、効率的な運営に努め、経費の増加は極力抑制する。
当年度結果 (※)	当年度は、外部に出向させていた施設担当職員が当社に復帰し、体制の強化を図った。施設整備に向けた計画の検討を実施するとともに、より一層施設管理運営を充実させるため、契約期間満了を迎えた統括的な管理運営会社の公募・選定を実施し、新年度から新たな会社に委託することとした。より効率的、より適切な運営を期待している。なお、人件費等の経費の増加も、極力抑制できた。

指標	販売一般管理費 (単位：百万円)							
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		平成32年度	
中期経営計画	—		1,241		1,279		1,203	
実績	見込	実績(※)	目標	実績(※)	目標	実績	目標	実績
	1,254	1,246	1,241	1,204	1,206		-	